

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

4

(EKUTEBIAN VOL.13 APRIL 1995 EKUTEBIAN)



まい あしと ■彫刻「奇怪なお隣さん」南米のミーヤ・キャット
by 宮澤仙二郎

名取欣一さん(高松町1丁目)と 凧づくりをたのしむ

外は春の雨。今日は名取欣一さん(高松町)に教わりながら、凧づくりに挑戦だというのに。竹骨を削り、寸法をとって紙を切り、絵柄を筆描きするあたりから、頭の中には大空を舞う凧の姿が…。わくわくしながら糸を張り、尻尾をつけてさあ出来上がり。いざ大空へ。しかし!「凧に湿気は禁物だからねえ…。今日ほど雨をうらめしく思ったことはないのです、名取さん。



ひし形は凧の基本型。大空に上がるためのすべての理論がこの彩に集約されている。



街の子どもたちに凧作りを指導する時も、名取さんはこのタイプを用いる。絵柄は「波千鳥」。

MADE IN EKUTEBIAN

メイド・イン・えくてびあん

3



◇えくてびあんレポート◇

立川人の、やま折り、たに折り この祈り、被災地へ届け!

“折紙で花束をこしらえて、被災地のみなさんを励まそう!” 3月はじめのとある晩。立川市女性総合センター「アイム」の一室に続々と集まった立川人。色とりどりの折紙に阪神復興への想いをこめて、大きな「花束」作りに取りかかった。

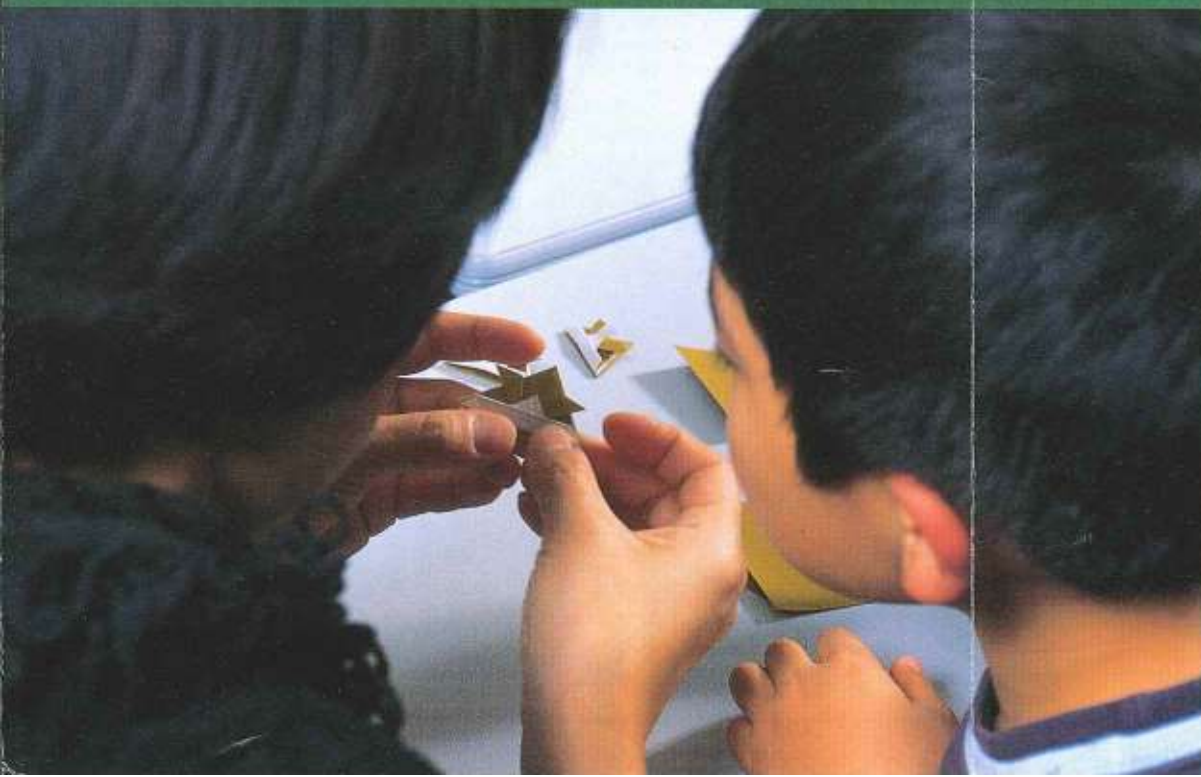
わらぶき色のバスケットを組み合わせるために、端午の節句にちなんだ、ちっちゃな「兜」はみるみるうちに山盛り。ピンキング鉋で細工したお花をたくさん貼りつけ、正味2時間、折りの結集はついに完成。指導してくださったのは、江の島保育園(栄町)の保母さん、山田悦子さん。

「今日のこの熱気を被災地の方に、早くお届けしたいですね」

5月。各地からの救援物資に混じり、立川から被災地に「心」が届く。



おばあちゃんからチビッコ諸君まで、この日集まった立川人は40人以上。一時は部屋に入りきれないほど。ただならぬ熱気の中、兜はどんどん出来上がる。



「お母さん、僕の方が上手だよ」
こんなに小さな兜でもたくさん並べれば大きなバスケットが出来上がる。お花がたくさん盛れるように、立川人の心もたくさん盛れるように。

北口交番新聞、ただいま発行中! お巡りさん、新聞をつくる



▲新聞お巡りさん、波多野巡査。現在北口交番勤務。

波多野巡査は立川北口交番勤務。現在花菱集書庫中。

◆「四月一日から全国一斉に、私達の制服が二十五年振りに変わりました。慣れない新制服に戸惑っています。先日、喧嘩の現場に急行、仲裁に入ったところ、ガードマンは引込んで、と言われ、しまった。後ろ姿は郵便屋さんです。ハイ」(平成六年四月十日号)

「立川周辺で落とし物をされたときは、とりあえず北口交番においでください。いろんな物に預かっています。財布や定期券はもちろんのこと、保現金もよく届きます。立川市民は親切な人ばかり。諦めずに紛失届けを、平成六年九月十六日号)

立川市内で起こった事件・事故の顛末や、巡回時のエピソード、季節の話題にいたるまで、内容の硬軟に問わずB4版の誌面いっぱいには広がる優しい語り口。一読すればこの新聞から「警察官」などとかしこまった姿ではなく、困った時にいつでも助けてくれる、優しい「お巡りさん」の姿が、誰の目にも浮かんでくるはず。

◆波多野さんは語る。
「若い頃、ある先輩が話してくれました。戦後の混乱期、ヤミ米の取り締まりに向かったその先輩は、ある母子に出会った。幼い子どもを抱えたその母親、背中中のリュックにはどろみでもヤミ米が入っている。しかしその先輩は黙って道を通してあげた。俺には捕まえることが出来なかった」と言うんです。
「そういう警官でありたい……」と、言っている波多野さん。
交番新聞、平成六年六月二十日号によると、立川市の自転車放置台数は、吉祥寺駅前を抜いて日本一だという記事が掲載されている。私たちがとって、あまり嬉しくない日本一。
しかし今回、えくてびあんは新しい日本一を発見した。
立川市は「本当の」お巡りさんがある街、日本一である。

立川人の安全を守り続けるお巡りさんが手作りの新聞を発行している。編集しているのは立川警察署・パトカー勤務、波多野雅信さん(43)と立川北口交番勤務の蓮田貢一さん(24)さん。
今日も二人は出来たての新聞を小脇に、パトロールに向かう。

「高松町のある美容院では、奥さんが店内の鏡の脇に貼ってくださってね。嬉しかったなあ」
交通安全運動や防犯キャンペーンの呼びかけなども然る事ながら、「道案内ベストテン」といった交

4月14日、いよいよ除幕



若山喜志子。若山旅人。八木下預治。わが街に歌をこころを植付させた三歌人の文学碑が、詩歌のみに建立されること、先月号でお知らせした通り、その除幕式が、いよいよ来る4月14日(金)、柴崎福祉会館前、詩歌のみち水源にてとり行われることとなり、立川市文化協会を中心に、目下準備がすすめられている。
根川のほとり、さくらの花びらが舞う中で交を現す三つの碑、好天を祈りつつ、街に詩情あふれること、楽しみ。

中島豆腐店 羽衣町2-12-34 ☎22-5723	むぎばたけ 錦町2-1-1 ☎26-0210	ほわいとほうす 柴崎町2-9-28 ☎24-1610
和風レストラン 高屋 羽衣町2-27-14 ☎26-3698	池田屋商店 錦町2-1-10 ☎22-3731	ビジネスホテル クボタ 柴崎町2-12-23 ☎22-1122
珈琲屋らうむ 羽衣町2-27-9 ☎26-3643	寿屋酒店 錦町2-1-13 ☎22-3625	いなげや 立川南口店 柴崎町2-12-24 ☎26-2947
立川商店 羽衣町2-30 ☎22-3565	三田花店 錦町2-5-23 ☎24-4187	白洋舎 立川南口店 柴崎町2-17-5 ☎25-0036
泰明堂 羽衣町2-31-1 ☎22-3353	立川市市民会館 錦町3-3-20 ☎26-1311	モリタニ漢方薬局 柴崎町2-2-10 ☎25-1193
文具の ないとう 羽衣町2-33-1 ☎22-3677	ロッテリア 立川南口店 幸町4-38 ☎37-4413	南関田酒店 柴崎町2-2-17 ☎24-2960
洋菓子サロン ケーキスタジオ5 羽衣町2-6-1 ☎27-6808	たちばな 幸町6-1-12 ☎37-0347	ユウ都市企画 柴崎町2-3-13 ☎28-2566
おそのい時計店 羽衣町2-32-2 ☎22-5211	自然食 ばれあな 高松町2-1-23 ☎24-4560	ラ・パンパ 柴崎町2-3-3 ☎24-5800
多摩中央信用金庫 栄町支店 栄町2-66-1 ☎36-9711	多摩画材 高松町2-1-25 ☎22-6031	LIQUOR SHOP はなむら 柴崎町2-3-9 ☎22-2491
手打ちそば 倍更 栄町5-12-1 ☎37-0991	洋菓子 マリアン 高松町2-10-22 ☎24-3912	オーロール焼きたて 立川店 柴崎町2-4-15 ☎27-9473
相模屋酒店 栄町5-61-8 ☎36-2476	山梨中央銀行 立川支店 高松町2-16-13 ☎26-1571	北京大飯店 柴崎町2-4-19 ☎22-6393
森田接骨院 栄町6-6-25 ☎35-6240	宝泉菓子店 高松町2-27-3 ☎26-1736	ななや 柴崎町2-4-22 ☎25-6980
高木健康回復センター 錦町1-6-21 ☎21-0289	丸助青果店 高松町2-4-18 ☎22-3542	田中星美堂薬局 柴崎町2-5-3 ☎22-3913
和菓子処 ゆうき 錦町1-8-5 ☎25-0780	肉の専門店 伊勢屋 高松町2-6-20 ☎24-2734	菊川園 柴崎町2-5-6 ☎26-2035

えくてびあんの輪
人があて、街があります。
あなたがあて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん!
リストのお店にはいつでも えくてびあん!

café コロラド 柴崎町2-5-8 ☎26-2285	ラーメン電馬 柴崎町3-8-2 ☎27-7575	ホワイトハウス フロム中武 錦町2-11-2 ☎25-8558
スタジオ 269 柴崎町2-8 ☎27-0269	東京都民銀行 立川支店 柴崎町3-9-21 ☎22-7107	ケンタッキーフライドチキン 立川南口店 錦町2-12-16 ☎28-2636
東陶房 柴崎町2-9 ☎25-0079	美容室 リラ 若葉町1-11-1 ☎36-3048	伊勢丹 立川店 受付 錦町2-12-2 ☎25-1111
ロッテリア 立川南口店 柴崎町3-1-3 ☎22-3928	みふじサイクル 若葉町1-12-4 ☎36-7166	三菱銀行 立川支店 錦町2-13-3 ☎24-4121
笠井紙店 柴崎町3-13-24 ☎22-8601	紀ノ国屋 立川店 若葉町1-13-2 ☎36-1604	トボス 立川店 錦町2-18-18 ☎25-0331
矢沢歯科 柴崎町3-16-2 ☎25-6600	エッソ石油 立川南口店 若葉町2-1 ☎35-3081	オリオン書房 東一パト店 錦町2-2-25 ☎23-3311
割烹 紀ノ川 柴崎町3-4-3 ☎25-5825	大番商事 錦町1-23-9 ☎25-3110	印章の 宝山堂 錦町2-4 ☎25-0111
ラ・フィネ 柴崎町3-5-2 ☎25-2179	オリオン書房 ルミネ立川店 錦町2-1-1 ☎27-2311	アルピオン 錦町2-4-28 ☎25-3824
ヨシダ貴金属店 柴崎町3-5-4 ☎22-2448	ビューティーナカ 立川南口店 錦町2-1-1 ☎27-6917	お菓子の家 エミリーフロアゲ 錦町2-4-28 ☎27-4138
東京相和銀行 立川支店 柴崎町3-6-17 ☎22-2171	八王子赤十字血源センター 立川南口店 錦町2-1-1 ☎27-1140	アンキャフェ・エミリーフロアゲ 錦町2-4-30 ☎26-1818
オリオン書房 柴崎町3-6-27 ☎25-3111	朝日カルチャーセンター 立川南口店 錦町2-1-1 ☎27-6511	クリムト 錦町2-4-30 ☎26-3030
あさひ銀行 立川支店 柴崎町3-6-29 ☎22-4161	ロッテリア 立川ルミネ店 錦町2-1-1 ☎24-7433	第一勧業銀行 立川支店 錦町2-4-30 ☎22-5151
イスパニスタ 柴崎町3-6-3 ☎22-2969	オムニバス館 グレーシーハウス 錦町2-3-7 ☎25-2588	シェ・タスケ 錦町2-5-14 ☎27-5959
入船寿司 柴崎町3-6-32 ☎22-2474	立川リージェントホテル 錦町2-11-7 ☎22-1133	さくら銀行 立川支店 錦町2-6-11 ☎22-2151
サンカメラ 柴崎町3-7-22 ☎22-3336	松下珠算塾 錦町3-33 ☎25-1671	サヴィニ 錦町2-7-10 ☎25-1662

海の水がからいわけ

たんぼぼ読書会 六車充子

石臼が見えたのです。それはその話を聞いた時、幼い私が心に描いた絵のままだけで、小学校三、四年になるまで祖母と一緒に寝ていた私は、祖母からたくさんのお話を聞いて育ちました。長い間にはほとんど忘れてしまっていたが、いつの間にか子どもに話を聞いてやっていた自分、気がついた。祖母がしてくれた話を、幼い私が心に描いた絵をなぞりながら語っているのだった。話の筋は離れにしがたくなっているのに、心の絵だけはその時のままに思い出せるのだった。

お話を聞く、ということはいま、言葉を創ること、言葉を描くことに描くことです。

語ることは語り手の心に描かれた絵を言葉にすること。聞き手も語り手も自分には見えない絵を描くのです。聞いた話の数だけ絵が残り、語った話の数だけ絵が出来るのです。そして心の奥にしまわれ描かれたことさへ忘れた頃になって、何かのきっかけでまた見えて来て、その人を慰め、励ますこともあるのです。それは、たとえ些細なことであっても大切なことかもしれないと思えます。私たちが生きていくということ、大事なのは連続ではなく、小さなことを積み重ねていくこと、そのための連続……

子どもたちには、今はただただ、お話を楽しんで欲しいと思います。不思議な話に「へー」と驚いたり、面白い話にお話をかかえたりして、「世の中にはいらないことがたくさんあるね」と感じてくれたらいいな。

他にお話を二つして今日は終わりました。備わろうとしていて二年生の女の子が傍に来て、「おばあちゃん、もう今は石臼は回っていないんじゃないの?」と真剣な顔をして言いました。「(石臼はあなたの心の中心で回っているよ、それだよ)」。そう言うお話を、でも「海の水がからいわけ」は、誰にも描かれないわね」と私は答えました。女の子はじっと私の顔を見つめてから、「うん」とうなづいて友達の方へ歩いていきました。

表紙は語る

まいあーと 彫刻 宮澤三郎

宮澤さんは奥様ともども、動物好き。モチーフとなるのは動物が多い。彫り終るとまづはご夫婦で品評会。奥様がタイトルを付けて、初めて「出来上がり」。

素材が持つぬくもり、粗めの削り、が「体温」を感じさせるこの作品は、二月に駅ビル・朝日ギャラリーにて開かれた「モク・モク彫刻展」からの一品。

宮澤さんはお仕事の間を縫って、彫刻作品を作り続けている。宮澤さんは奥様ともども、動物好き。モチーフとなるのは動物が多い。彫り終るとまづはご夫婦で品評会。奥様がタイトルを付けて、初めて「出来上がり」。

素材が持つぬくもり、粗めの削り、が「体温」を感じさせるこの作品は、二月に駅ビル・朝日ギャラリーにて開かれた「モク・モク彫刻展」からの一品。

東風

一月十七日、淡路島渡瀬の「阪神大震災」三月二十日、東京のメトロで「地下鉄有楽町線」が発生した。天災、人災、あわせてただただ然としてしまふ。世紀末とは、こんな日々をいうのか。今日あたり落ちてきたら、今日あたり落ちてきたら、と子言者めく人がたくさん現れるかも知れない。砂川さんが北口の方へ出てくる時に、今でも、立川へ行って、という。立川へ行って、という。有楽町線事件の日に「東京へ行って」事件にあわなかったかと、急に心配になってきた。人の世に災害はきけて通れないのだろうか。こんな時に、人間の生命に光を与えてくれるのが「詩」なのではないか。

古来、詩人は多くの人の心の中に光を与えてきた。特に日本人は和歌という独特の詩表現をもち、のちに俳句という詩型を確立するのだから、もちろん自由詩も人の心の中に輝きを与えてくれる。立川に「詩歌の道」が出来るとはじめて聞いた時は、この街にはなにもなかった。根川添いに中村草田男の句碑が建った時、うれしかったが、今度、若山旅人さんら三人の歌碑が建つ。そういう「志」を他人ごとで置かせてしまふのは懐中の宝物に気がつかないも同然のよう。に思えてならない。雲裏の輝きを、さくらで踏む。

編集 池田屋 牛野彰 小杉小郎 小林重雄 池田屋 山田真司 中村草田男 若山旅人 若山喜志子 若山喜志子 若山喜志子 若山喜志子

印刷所 大田印刷 立川支店

月刊 えくてびあん 第129号
平成七年四月一日発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市花菱2-17-15
杉田ビル6F 電話 0425-2175
FAX 0425-2175 (20) 0425-2197
編集 池田屋 牛野彰 小杉小郎 小林重雄 池田屋 山田真司 中村草田男 若山旅人 若山喜志子 若山喜志子 若山喜志子

ウォッチング

考察：金属柱

日活大通り(柴崎町)沿いの歩道。腰ぐらまでの高さの金属の柱が、広い歩道の中央を区切る形で並び立っている。何のために? 考察してみた。

(1) この柱を中央にして歩行者は左右にわかれる。人が歩道いっぱいには広がって歩く状態を防ぐため?
(2) 天気の良い日はお陽さまの光が金属に当たり、キラキラと輝く。通りを行く人の気持ちが明るくなってしまふ? 果たして、(2)の可能性は……?

W A T C H I N G

JR立川駅南口諏訪通り ☎22-0729

新しいさくら銀行の通帳&カード

PARISA

さくら銀行
立川支店
〒190 東京都立川市南町2-6-11
TEL (0425)22-2151

猫のひたい

猫のひたいで売られているお菓子たち。

第1位 アップルパイ 700円
第2位 アンコパイ 150円
第3位 シフォンケーキ 500円
第4位 ブラウンニー 150円
第5位 パナナケーキ 400円

W A T C H I N G

JR立川駅南口諏訪通り ☎22-0729

わたしの 玉手箱

5. 柴崎町・福山玄一郎さんの 「GIジョー人形」

ベンチャーズ、バットマン、そしてGIジョー。福山さんの営む喫茶店「CARRY」の店内には、60年代のアメリカがある。福山さんの大切な友人たちに囲まれて飲む珈琲は、エヴァー・グリーンの味がする。



▲GIジョーの人気はベトナム戦争を境に下火になった。黒人兵のモデルは珍しい。

“超”がつくレア・アイテム、▶
人気テレビ映画「600万ドルの男」のGIジョー。

